

みんなのひろば

福祉サービスクー

市では、障害者福祉の「まちづくりの一環として、このほど福祉サービスクーを購入しました。

福祉サービスクー



この車は、車イスのまま乗車できる油圧式リフトや、車内に入った車イスを確実に固定できるストッパーなどが装備されている他、付き添いの方のための添乗者用シートも装備されております。福祉活動など、身体の不自由な方々の行動範囲を拡げる足としてご利用ください。

遠隔装置サイレン

所野、久次良地区のサイレン難聴を解消するために工事が進められていたサイレン吹鳴装置がこのほど完成しました。これは、国庫補助金を受けて工事費五百八十五万円で設置したもので、この装置は、消防署の無線に親局がセットされており、ボタン一つで二か所を同時に鳴らすことができます。



完成した遠隔装置のサイレン

日光カンツリークラブと久次良町の大栗弥平さんの所有地に高さ十五メートルのハンザマストが建てられており、無線により信号が発信されると子局が自動的にキャッチして四方のトランペットスピーカーから電子音のサイレンが鳴ります。この四月の春の交通・

防犯運動に初めて鳴らされたが、広範囲に聞えて一段と防犯体制が強化されました。

地域住民は「災害のとき早く知ることができ心配がなくなつた」と喜んでいました。

お見舞

四月十四日、市内の寝たきり老人四十九人に見舞金が贈られました。

七十五歳以上の寝たきり老人に見舞金が贈られるこの制度は、昭和四十七年から始められているものです。

この日は、斎藤市長も四人の寝たきり老人宅を訪問し激励するとともに社会に永い間貢献された労をねぎらいました。

善意銀行

三月中に日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝いたします。(敬称略)

〔現金預託〕
○市内要援護者に、知野イネ(稲荷3)千円 ○市内の恵まれない子に、古橋登喜子(所野)千円
植木善見(匠)二千円 井上昭弘(細尾)二千円 ○下野三楽園に竹沢啓三(下鉢)千円 ○身体障害者に 親和会孔版社有志(清滝

2) 四千元 ○身体障害者友愛会に 匿名 四千元 ○交通遺児に 大野博(横浜)二百四十円 ○社会福祉に グループVOA 一万六千四百円 ○老人福祉に 松本半左衛門(本町)六千元 寺田良一(安川)三千元

〔物品預託〕
○市内施設に 稲荷町二丁目老人クラブ 雑布百枚 ○身体障害児に 鶴島アヤ(安川)おしめ二十枚

〔香典返し廃止による預託〕
○老人福祉に 福田光也(稲荷2)五万円 村杉節(石屋)十万円 前田雄一(松原)三万円

募集

栃木県青年の船実行委員会では「栃木県青年の船」の団員を募集します。

この青年の船は、規律ある団体生活を通して、自己啓発、心身の鍛練、連帯感の高揚を図るとともに、訪問国の歴史と文化の探究、産業・経済の視察を行うことにより、国際的視野を広げ、青年の社会参加の促進、青少年団体リーダーの養成を図ることを目的としています。
訪問国は、中華人民共和国と沖縄県で、期間は、十一月七日から十一月二十三日までの十七日間の予定です。

派遣に要する経費は五十六万八千円ですが、そのうちの四分の三は県と市が負担し、残りの四分の一の十四万二千元と旅券印紙代、旅行傷害保険料など一万九千円、二万七千円は本人負担になります。

日光市からの募集定員は四人。ご希望の方は、五月二十九日までに市社会教育課社会教育係(☎五三―三七〇〇)へ申し込んでください。なお、申し込み方法、資格提出書類などくわしいことは社会教育課にお問い合わせください。

交通規制

五月二十一日の午後一時から五時までの日光市内、また、五月二十二日の午前九時から午後二時までの日光・宇都宮間の国道は、全国植樹祭行事のため車輛の混雑が予想されますので、交通規制を行います。

規制時間帯は、警察官の誘導に従って運転してください。(日光警察署)

(訂正)

四月号広報十三ページの「広がる善意の輪」の記事の中に、愛のカーネーション作りに励む団体で「栃木県精神薄弱者育成会日光支部(山田善吉支部長)」が落ちていました。訂正してお詫びします。